

「観光振興を目的とした新しい税金の検討について」の意見ぼしゅうの結果(こどもの意見)

令和6年7月12日

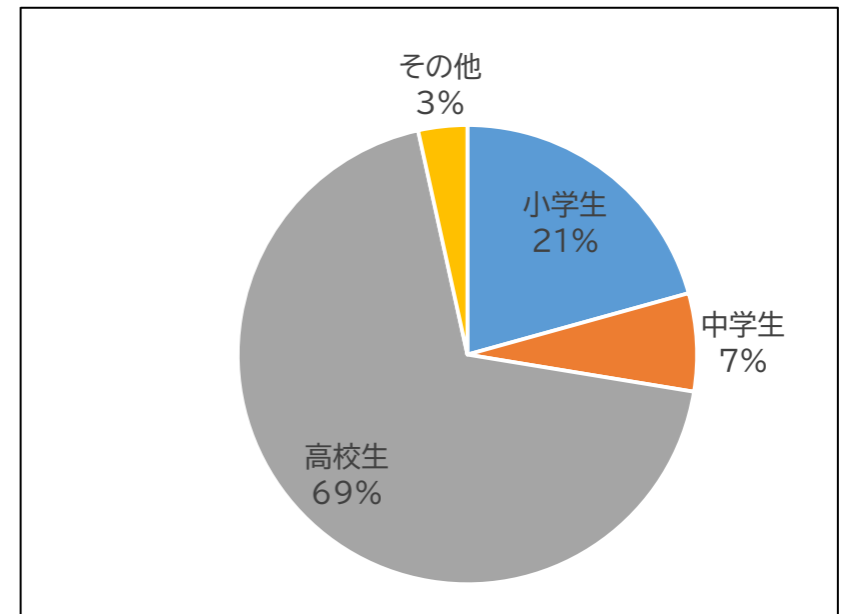
実施期間	令和6年4月22日から令和6年5月23日まで
回答数	29人

1 回答者

(1) 年代

【質問】年代をおこたえください。

区分	小学生	中学生	高校生	その他 子ども	合計
人数	6人	2人	20人	1人	29人
割合	21%	7%	69%	3%	—



(2) 住所

【質問】お住まいの市町村をおこたえください。

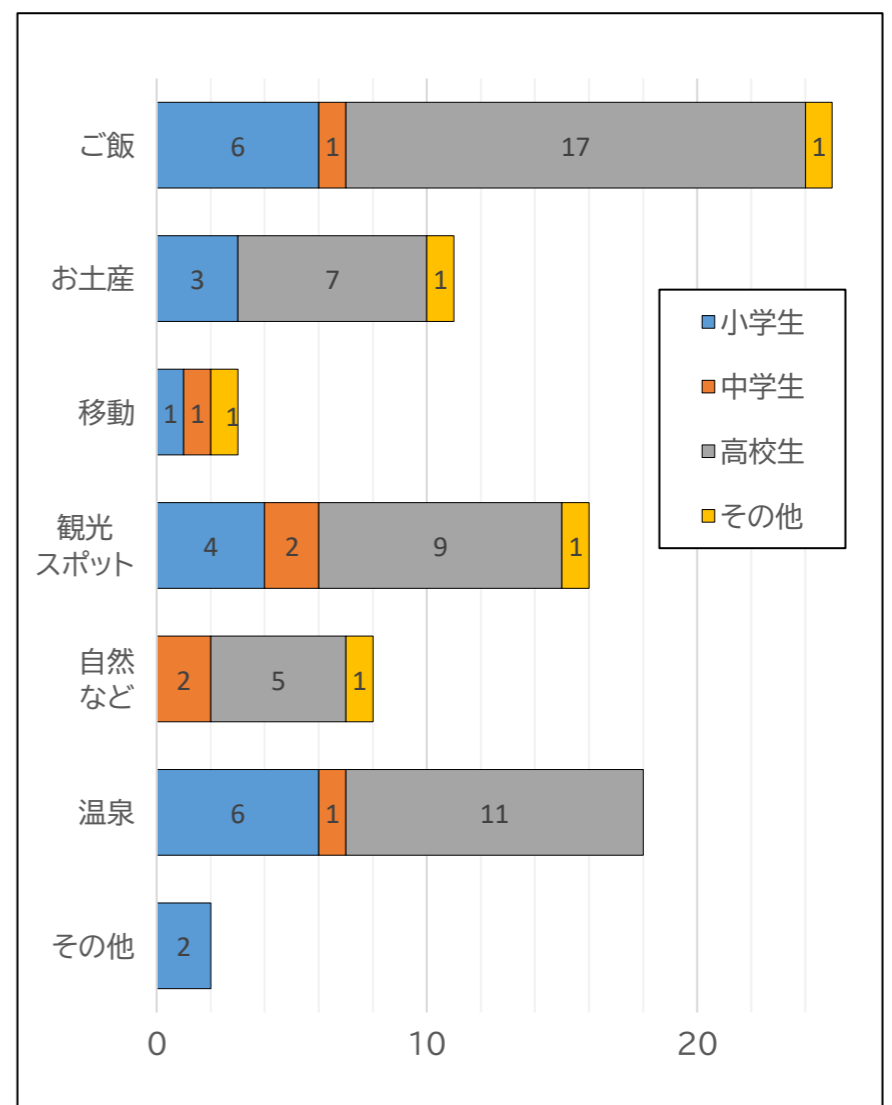
札幌市10、函館市1、旭川市3、室蘭市2、釧路市1、岩見沢市2、江別市1、滝川市1、登別市2、倶知安町2、苫前町1、鷹栖町1、美幌町1、中標津町1

2 意見

(1) 北海道観光で楽しみなこと

【質問】北海道を観光するときに、楽しみなこと(楽しかったこと)は何ですか(複数回答)

区分	小学生	中学生	高校生	その他 子ども	合計	
おいしいご飯を食べること	人数	6人	1人	17人	1人	25人
	割合	100%	50%	85%	100%	86%
お土産を買うこと	人数	3人	0人	7人	1人	11人
	割合	50%	0%	35%	100%	38%
電車やバスなどで移動すること	人数	1人	1人	0人	1人	3人
	割合	17%	50%	0%	100%	10%
観光スポットを訪れること	人数	4人	2人	9人	1人	16人
	割合	67%	100%	45%	100%	55%
自然やスポーツ、文化を楽しむこと	人数	0人	2人	5人	1人	8人
	割合	0%	100%	25%	100%	28%
温泉に入ること	人数	6人	1人	11人	0人	18人
	割合	100%	50%	55%	0%	62%
その他	人数	2人	0人	0人	0人	2人
	割合	33%	0%	0%	0%	7%



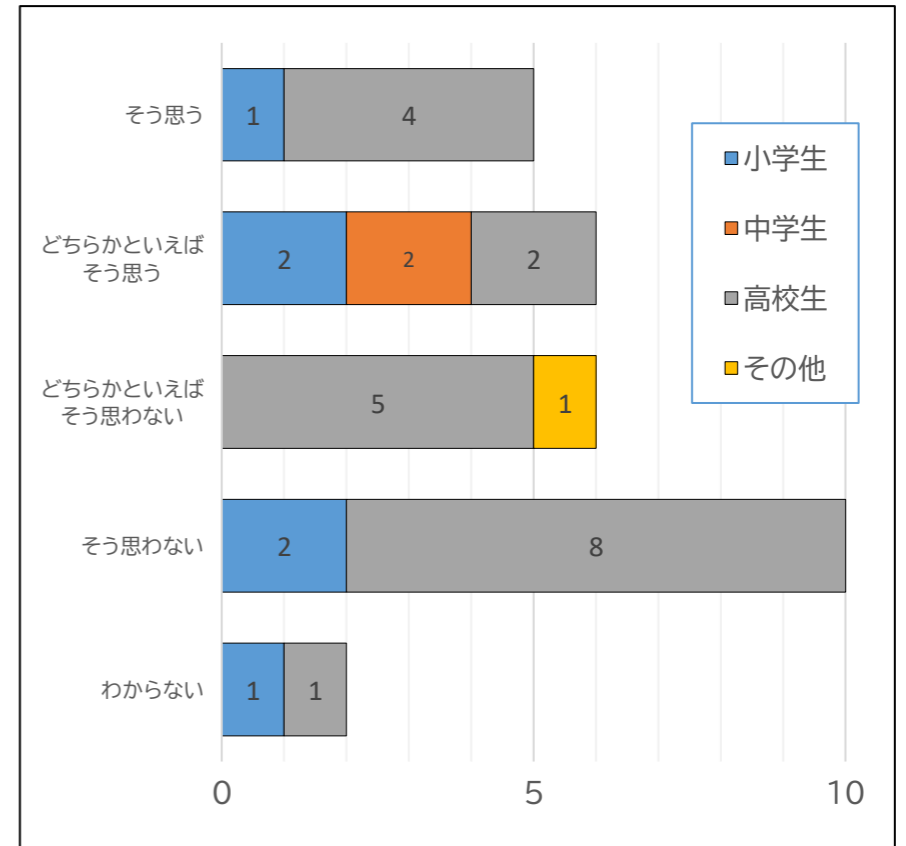
「その他」の回答内容	①札幌のホテルに行くこと ②行った場所での写真撮影とお買い物
------------	-----------------------------------

皆さんの意見のまとめ	北海道観光では、おいしいご飯を食べることや温泉に入ること、観光スポットを巡ることを楽しみにしている人が特に多いことがわかりました。
意見に対する回答	北海道では、新しい税金を活用して、皆さんにこれまで以上に北海道観光を楽しんでもらえるように、新しい魅力や旅行目的の発見、また旅行者の満足度の向上につながるような観光地づくりなどの取組を進めていきます。

(2) 新しい税金の必要性

【質問】 北海道の観光を盛り上げていくために、新しい税金は必要だと思いますか

区分		小学生	中学生	高校生	その他 子ども	合計
そう思う	人数	1人	0人	4人	0人	5人
	割合	17%	0%	20%	0%	17%
どちらかといえば、 そう思う	人数	2人	2人	2人	0人	6人
	割合	33%	100%	10%	0%	21%
どちらかといえば、 そう思わない	人数	0人	0人	5人	1人	6人
	割合	0%	0%	25%	100%	21%
そう思わない	人数	2人	0人	8人	0人	10人
	割合	33%	0%	40%	0%	34%
わからない	人数	1人	0人	1人	0人	2人
	割合	17%	0%	5%	0%	7%

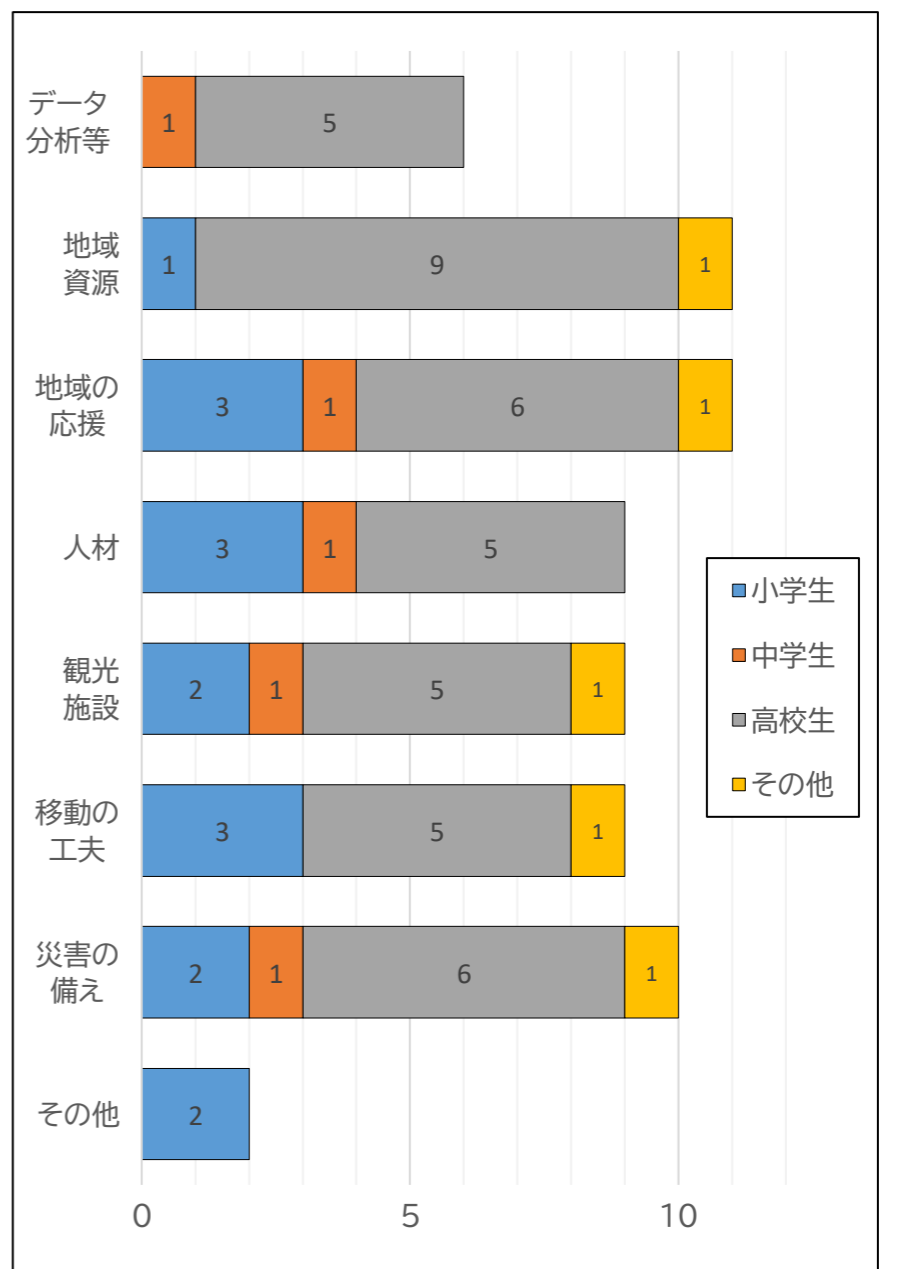


皆さんの意見のまとめ	新しい税金の必要性については、「そう思わない」が34%と最も多く、「どちらかといえばそう思う」と「どちらかといえばそう思わない」が同じく次に多く(21%)、「そう思う」が17%という結果となりました。
意見に対する回答	北海道では、さまざまな観光ニーズや、コロナ禍以降、観光に関わるお仕事において、より明らかになってきた人手不足や突発的な災害への備えなどの問題に対し、新しい税金を活用して対応していくことで、北海道の観光をさらに盛り上げ、皆さんにその効果を実感いただけるような取組を考えていきます。

(3) 新しい税金の活用

【質問】 集めた税金をどんなことに活用してほしいですか(複数回答)

区分		小学生	中学生	高校生	その他 子ども	合計
データを分析し、情報発信 や取組の検討に活かすこと	人数	0人	1人	5人	0人	6人
	割合	0%	50%	25%	0%	21%
地域の資源を活かして 観光を盛り上げること	人数	1人	0人	9人	1人	11人
	割合	17%	0%	45%	100%	38%
地域の取組を支援する こと	人数	3人	1人	6人	1人	11人
	割合	50%	50%	30%	100%	38%
観光の仕事をする人を増や したり人材を育てること	人数	3人	1人	5人	0人	9人
	割合	50%	50%	25%	0%	31%
観光施設を快適で 便利にすること	人数	2人	1人	5人	1人	9人
	割合	33%	50%	25%	100%	31%
広大な北海道を便利に移 動できるよう工夫すること	人数	3人	0人	5人	1人	9人
	割合	50%	0%	25%	100%	31%
旅行時の災害に 備えること	人数	2人	1人	6人	1人	10人
	割合	33%	50%	30%	100%	34%
その他	人数	2人	0人	0人	0人	2人
	割合	33%	0%	0%	0%	7%



「その他」の回答内容	①旅行手続きの値段を安くする。サービスをする人のお給料にする。 ②早く北海道新幹線に札幌まで乗れるようにしてほしい。外国人のレンタカーの危ない運転をとり止めてほしい。 いろいろな物の値段が高くなっていて遊びに行きにくいので、なんとかしてほしい。
------------	--

皆さんの意見のまとめ	新しい税金の活用については、「地域の資源を活かして観光を盛り上げること」と「地域の取組を支援すること」が38%と最も多く、皆さんが、道内の地域の魅力を大切に思っていることがわかりました。また、「旅行時の災害に備えること」が次に多く、災害などに対する備えについても大事だと考えていることがわかりました。
意見に対する回答	皆さんからいただいた意見を参考にしながら、新しい税金を活用する方法について、これからより具体的に考えていきます。

(4)その他
【質問】自由に意見を書いてください

年代	意見の内容	意見に対する回答
1 小学生	<p>北海道に住む人を増やすには、世界中で日本の北海道の宣伝をして、興味を持ってくれた人を北海道に住むための手続きを簡単にできるように、払ってくれている税金(移住の手続きを考えてくれる会社のお給料や、働く環境を整えるために使うこと)を使って、海外の人や、日本国内の人が移住しやすい環境にしたら、北海道に住む人がたくさん増えると思います。</p>	<p>新しい税金は、観光を盛り上げていくために使うものですが、地域の魅力をみがき上げ、観光を盛り上げることによって、その土地で働く人の環境が良くなることや、その土地に住みたいと思う人を増やすといった、「地域づくり」にもつなげていくことができると考えています。世界中の人に北海道の魅力をたくさん知ってもらい、北海道を元気にできるような取組を考えていきます。</p>
2 小学生	<p>宿泊税を払う決まりになると、お父さんが仕事の出張で泊まるいろんなホテルでも宿泊税がかかるようになっていきました。大好きなお父さんは、出張に行くとき少ないおこづかいの中から私にお土産を買ってきてくれますが、これからは宿泊税がかかるのでお土産が無くなっちゃうんじゃないかと残念に思っています。 お父さんが泊まるホテルはいつも大体3千円くらいですが、宿泊税は100円かかると言っていました。 私が住んでいる町には1泊100万円以上するホテルがありますが、ここに泊まるお金持ちの外国人は宿泊税は500円と言っていました。そして、集めたお金は観光のために使うそうです。どうして、おこづかいの少ないお父さんが3千円のホテルで100円も払って、お金持ちの外国人は100万円のホテルでは500円しか払わなくて、そしてお父さんのようなお仕事の人のためではなくて、観光のためにお金を使うのですか？100万円のホテルに泊まる外国人は3,300円くらいの宿泊税を払うべきじゃないのですか？ このままだと、お金のない道民から税金をしばり取って、お金持ちの外国人からはあまり税金を取らなくて、集めたお金は外国人の観光のために使うように感じて、すごく不公平だなんて感じています。</p>	<p>新しい税金は、出張などで宿泊される人にも負担をお願いするものですが、出張のお父さんをはじめ、目的に関わらず北海道を旅行する人が、今まで以上に便利に満足していただけるような取組を考えています。 また、税金の仕組みには、宿泊料金に決まった割合をかけて計算する方法(定率制)もありますが、ホテルなどの事業者のみならず、計算や作業が大変という意見が多く寄せられました。北海道では、宿泊料金の上昇への対応や支払う料金(負担能力)に合わせた仕組みとすること、また、事業者の皆さんの負担を減らすことなどを踏まえ、現在の税の仕組み(段階的定額制)として考えています。</p>
3 小学生	<p>町でも宿泊税をとっているの、北海道で同じような税金とるのは反対です。私もお父さんもスポーツをやっているの、遠征や大会に行ったときに応援の家族と一緒に宿泊しますが、できるだけ安い場所をさがしています。ものの値段も上がっているし、スポーツやお仕事など観光ではない目的で泊まるだけにかかる税金ではない方法を考えてください。</p>	<p>新しい税金を活用して、ホテルなどで過ごす時間を快適で便利にすることや、目的地までの移動をスムーズにすることなど、色々な目的で旅行をする皆さんにも役立ち、喜んでもらえる取組を考えています。 また、スポーツ大会や合宿などで宿泊する皆さんにも、新しい税金を活用した取組のひとつとして、支援できる取組を考えていきます。</p>
4 その他子ども	<p>飲食店や観光地・遊園地、娯楽施設等でも「障がいがあるから利用出来ない。」とか「車椅子だから自分は行くの遠慮する。」と言うようなことが無いよう、どのような場所でも周りの健常者達と共に生きることが出来るように、感謝して楽しく優雅に生きていけるように、健常者と障がいの壁のない社会を一人ひとりが考え、力を合わせ、共に作り上げていきたい。</p>	<p>新しい税金を活用した取組として、誰もが快適に過ごせるよう、施設のユニバーサル化などを考えています。ご意見のとおり、誰もが北海道観光を楽しめるよう、皆さんと共に考え、取り組んでいきます。</p>